

(4) 工事における社会的コストの低減

IV④工事中の安全対策

¥ ♣

大型遠隔操縦除草機械の導入により除草作業の安全性が向上 ～同時に大幅に除草作業のコストを縮減～

中部地方整備局 平成12年度木曽川上流工事事務所揖斐川第一除草作業

【施策の概要】

堤防除草作業は、法面勾配が急であり機械の転倒の危険があり、現在導入されている搭乗式の大型法面自走式草刈車では危険防止のため1:1.8より緩やかな堤防にしか使用できませんでした。

今回導入した大型遠隔操縦除草機械は1:1.4程度の勾配まで作業が可能となり、かつ遠隔操作によりオペレーターの安全性の向上と大幅な除草作業のコスト縮減を可能としました。

【施策のポイント】

①安全性の向上

運転席で操縦しない無線遠隔操作機構を採用することによりオペレーターの安全性が向上

②作業能力の向上

未改修堤防などの平均勾配である1:1.4程度の急勾配でも除草作業が可能

③作業効率の向上

最高作業速度5.0km/h以上を確保し除草作業の効率が大幅に向

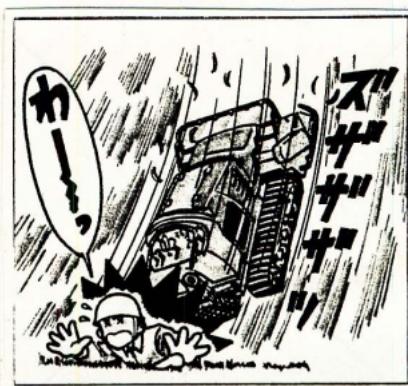
④経済性の向上

本作業においては、作業効率が向上したことにより、従来のハンドガイド式機械除草に比べ、約45%のコスト縮減を実現

【施策の実施状況・イメージ図】



大型遠隔操縦除草機械による
作業実施状況



作業中の安全確保

平成12年度は、大型遠隔操縦除草機械を全国で19台購入し、現場作業の更なる効率化と安全性向上に努めました。